

# 琉球大学学術リポジトリ

米国管理下の南西諸島状況雑件 沖縄関係地方自治  
関係 (第一巻)

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-15 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43879">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43879</a>

又

圣

温

(新肉切抜)

# 市長不信任騒ぎ

## 布令要請のこんどは真和志市責任を追及

那覇市長は布令改正によつて加わつた件で野党の攻撃が激しく、市長の不信任問題までもあつてゐる。真和志市では市長の責任を追及する必要がある。市長の責任を追及する必要がある。市長の責任を追及する必要がある。

市長の不信任騒ぎは、市長の責任を追及する必要がある。市長の責任を追及する必要がある。市長の責任を追及する必要がある。

市長の不信任騒ぎは、市長の責任を追及する必要がある。市長の責任を追及する必要がある。市長の責任を追及する必要がある。

# 解説

〇行政府は二十七日、要件があることを認めるとして、中心の場合、那覇市長選挙を那覇・真和志の合併に即して選挙するに決めた。〇この合併の手続は、まず、真和志の市員に於て選挙三十、真和志十六、計四十六名、二十七日法務省の議決、一、その合併の議決を要する。二、その合併の議決を要する。三、その合併の議決を要する。

〇この合併の手続は、まず、真和志の市員に於て選挙三十、真和志十六、計四十六名、二十七日法務省の議決、一、その合併の議決を要する。二、その合併の議決を要する。三、その合併の議決を要する。

〇この合併の手続は、まず、真和志の市員に於て選挙三十、真和志十六、計四十六名、二十七日法務省の議決、一、その合併の議決を要する。二、その合併の議決を要する。三、その合併の議決を要する。

# 市会の決議が先

〇市会が合併の決議を先に行ふ必要がある。市長の不信任騒ぎは、市長の責任を追及する必要がある。市長の責任を追及する必要がある。市長の責任を追及する必要がある。

〇市会が合併の決議を先に行ふ必要がある。市長の不信任騒ぎは、市長の責任を追及する必要がある。市長の責任を追及する必要がある。市長の責任を追及する必要がある。

〇市会が合併の決議を先に行ふ必要がある。市長の不信任騒ぎは、市長の責任を追及する必要がある。市長の責任を追及する必要がある。市長の責任を追及する必要がある。



### 那覇市会編入合併を決議

二十八日の那覇市会は、ひる間、議員の議決について、五十分の過半数で、同議案を自願、新市建設法の規定に基づいて三会十七議員の共同提案による、決議案を可決、真和志との併合を真和志市を那覇市に編入することとした。

これでは和志市が併合の決議案として主席に報告、主席が立法府に提案を可決、立法府の議決を得て報告すれば合併は実現する。

真和志市を那覇市に編入することになる。  
真和志市を那覇市に編入し、五十七年十二月十七日から施行するに行政主席に申請するものとなる。右合併に伴い、真和志の所有する倉庫及び営業場（一）の権限も本市に帰属する方針のことで、真和志と協議するものとする。  
△議員の定数について、真和志市を那覇市に編入するに当り、同市の議会議員の定数は、市町村合併促進法第九条、第一項、第二号の規定により、四十五名に増加することを願するものとする。  
△新市建設法の規定について、市町村合併促進法第六条の規定により定める新市建設計画は、合併後の那覇市議会において定めるところを真和志市と協議するものとする。

### 届出12月24日から 那覇市長選挙告示

那覇市選挙権者委員会は、廿八日、臨時市長の不信任成立、△十一月五日、補充選挙人名簿に採納し市長の欠任を宣告、次期、議院立の交付開始市長選挙の告示を行った。それに、△十一月十四日、補充選挙人名簿を、投票は来年一月十日、開票は同日、開票立の交付開始（目）で立候補の届出開始は十一月二十日、投票は十一月二十四日、立候補者届出は十一月二十四日、開票は十一月二十九日、開票立の交付開始、△十一月二十九日、補充選挙人名簿の届出開始、不投票用紙の請求開始、終日

- △十一月七日、不投票用紙最終日
- △十一月十二日、投票日
- △十一月十五日、当選人決定

# ムーア弁務官に抗議

## 奄美民主勢力協議会

【奄美】沖繩の奄美郡市が、在任を延長する意向の露見を、抗議する「ムーア」弁務官に抗議する。奄美民主勢力協議会（社会、共産、各系連）は、沖繩の自由を守る会を十七、八日、奄美郡市をめぐり、ムーア弁務官に「自治的立法を求め、沖繩住民の自由を奪い、種長市長に対し、協議会」

に連名、那覇市議会は十八日の本会議で、これを決議する模様である。これは市長の改選前に合併して真和志の市民も参加させようとするので、すでに当間主権の多岐ができておる。早くも立法府の協議会が合併の真和志市の合併問題が急速の手配をしている。

**合併は確定的**「ムーア」十八日（土）真和志市、那覇市の保守派の懸念である真和志（まわし）市を那覇市に合併させる非難が進められているが、同案の可決は確定的である。合併が成立すれば、那覇市議会の定員は自動的に現在の三十八人から四十五人になり、勢力分配は次のようになる。

保守派一七、革新派二二、中立五、空席一。

（注）現在の那覇市議会の勢力分配は保守派一七、革新派一七、中立一、空席一。

# 政治

【市町編審法】及び【市町自治法】の改正命令は、去る二十五日に、那覇市会による不信任議決が成立、それと共に那覇市会が臨時市会に改選された。また、市町編審法に於いて、市町編審委員の任期は、改選命令公布後は、民政府顧問も、相応の権限を認め、臨時市会をはじめ、民主勢力、さらには民間各系代表者などから、何回かの意見を求め、民政府としては万全を期しての公布に努めている。それに併せて、臨時市会が編審委員の職務に努めている。したがって、臨時市会が編審委員の職務に努めている。したがって、臨時市会が編審委員の職務に努めている。

# 社大党どこへ行く 各派の動き大詰へ

【市町編審法】及び【市町自治法】の改正命令は、去る二十五日に、那覇市会による不信任議決が成立、それと共に那覇市会が臨時市会に改選された。また、市町編審法に於いて、市町編審委員の任期は、改選命令公布後は、民政府顧問も、相応の権限を認め、臨時市会をはじめ、民主勢力、さらには民間各系代表者などから、何回かの意見を求め、民政府としては万全を期しての公布に努めている。それに併せて、臨時市会が編審委員の職務に努めている。したがって、臨時市会が編審委員の職務に努めている。

# 週間の動き

【市町編審法】及び【市町自治法】の改正命令は、去る二十五日に、那覇市会による不信任議決が成立、それと共に那覇市会が臨時市会に改選された。また、市町編審法に於いて、市町編審委員の任期は、改選命令公布後は、民政府顧問も、相応の権限を認め、臨時市会をはじめ、民主勢力、さらには民間各系代表者などから、何回かの意見を求め、民政府としては万全を期しての公布に努めている。それに併せて、臨時市会が編審委員の職務に努めている。したがって、臨時市会が編審委員の職務に努めている。

# もめ抜いた社大党中執委

## 16対4で統一候補の主張蹴る

# 党独自の立場貫く 兼次氏ら遂に脱党

## 候補者選考七日に協議

党独自の立場を推すか、人民党と在野で統一候補にするか、注目されていた三日の社大党中執行委員会は三時半から終業時間になるまで開かれ、去る中執行委員は「党独自の立場を堅持して、民連の協力を求める」として、統一候補の主張を蹴る。民連が連立に同意しない限り、決断は再び自派の立場で進められる。先回は同様に那須支部と他派の意見が対立し、決断が持たないまま、十一月二十四日（翌日）統一候補（兼次氏）を推薦する立場から選挙準備を進めていた。その結果、統一候補を推薦する那須支部は執行委員七名（他、中那から一色、杉本、藤本、斎藤、佐藤、高田）、民連支部は執行委員三名（他、中那から一色、杉本、藤本）を擁立して統一候補を擁立することを決定した。中那支部からは、兼次氏を擁立することを決定したが、兼次氏を擁立することを決定した。民連支部からは、兼次氏を擁立することを決定したが、兼次氏を擁立することを決定した。民連支部からは、兼次氏を擁立することを決定したが、兼次氏を擁立することを決定した。

**脱党者は八名**  
 ▲兼次氏 ▲兼次氏 ▲兼次氏 ▲兼次氏 ▲兼次氏 ▲兼次氏 ▲兼次氏 ▲兼次氏  
 ▲兼次氏 ▲兼次氏 ▲兼次氏 ▲兼次氏 ▲兼次氏 ▲兼次氏 ▲兼次氏 ▲兼次氏  
 ▲兼次氏 ▲兼次氏 ▲兼次氏 ▲兼次氏 ▲兼次氏 ▲兼次氏 ▲兼次氏 ▲兼次氏

# 市議補選二月二日 都市合併法的手続き進む

## 長年懸念の補・真和の合併は、既成事実の合併議決を行い、選挙準備を急ぐ。本市は、二月二日、市長選出の日を期して、市民投票の準備を進める。市長選出の日を期して、市民投票の準備を進める。

長年懸念の補・真和の合併は、既成事実の合併議決を行い、選挙準備を急ぐ。本市は、二月二日、市長選出の日を期して、市民投票の準備を進める。市長選出の日を期して、市民投票の準備を進める。

22 12 1

### 届出24日から 那覇市長選告示

那覇市選挙管理委員会は、十一月廿八日那覇市長の不信任成立に伴い市長の欠員を補充、次期市長選挙の告示を行った。それによる選挙の告示は十一月二十一日(日)と、投票は十一月二十二日(月)で立候補の届出開始は十一月二十四日から一月九日までとなつてゐる。告示書は次の通り。▽十一月十九日(日)補充選挙人名簿の調査開始、不在投票用紙の請求開始▽十一月十五日(日)補充選挙人名簿の調査開始、選挙申立の受付開始▽十一月十四日(日)補充選挙人名簿の調査終了、選挙申立終了▽十一月二十四日(日)立候補者届出開始、同推薦人、立会人、支出責任者の届出開始▽一月九日(日)立候補者の届出終了

1



32. 12. 8

2中 3時 5分 2

### 政治

**市長選挙への動き**  
 那覇市長選挙への動きは、果して菅野昭一が、平良長雄氏の那覇市長選挙への出馬を許さない、トナツ合併を埋める那覇・真和の都市合併が実現することになった。合併問題については、菅野昭一は、平良長雄氏の出馬を許さない、トナツ合併を埋める那覇・真和の都市合併が実現することになった。合併問題については、菅野昭一は、平良長雄氏の出馬を許さない、トナツ合併を埋める那覇・真和の都市合併が実現することになった。

## 大きく揺れた社大党

### 市長問題で都市合併急速に進展

【本紙記者】那覇市長選挙への動きは、果して菅野昭一が、平良長雄氏の那覇市長選挙への出馬を許さない、トナツ合併を埋める那覇・真和の都市合併が実現することになった。合併問題については、菅野昭一は、平良長雄氏の出馬を許さない、トナツ合併を埋める那覇・真和の都市合併が実現することになった。

【本紙記者】那覇市長選挙への動きは、果して菅野昭一が、平良長雄氏の那覇市長選挙への出馬を許さない、トナツ合併を埋める那覇・真和の都市合併が実現することになった。合併問題については、菅野昭一は、平良長雄氏の出馬を許さない、トナツ合併を埋める那覇・真和の都市合併が実現することになった。

【本紙記者】那覇市長選挙への動きは、果して菅野昭一が、平良長雄氏の那覇市長選挙への出馬を許さない、トナツ合併を埋める那覇・真和の都市合併が実現することになった。合併問題については、菅野昭一は、平良長雄氏の出馬を許さない、トナツ合併を埋める那覇・真和の都市合併が実現することになった。

### 週間の動き

【本紙記者】那覇市長選挙への動きは、果して菅野昭一が、平良長雄氏の那覇市長選挙への出馬を許さない、トナツ合併を埋める那覇・真和の都市合併が実現することになった。合併問題については、菅野昭一は、平良長雄氏の出馬を許さない、トナツ合併を埋める那覇・真和の都市合併が実現することになった。

社大党平良氏を公認  
那覇市長選  
【那覇発】共闘、那覇の社大党中央執行委員会は八日、次の那覇市長選挙で元沖縄和平長飯野（たけら）たつお氏を公認候補とすることを決めた。

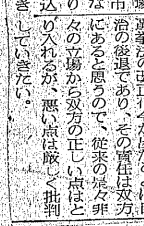
# 那覇市長選 乱戦の兆

## 仲本氏の出馬表明で情勢複雑 民主党の態度次第に硬化

那覇市長選挙は、仲本氏の出馬表明で、一層複雑な情勢を築いている。このため平良氏推す勢力と仲本氏推す勢力が本都庁本部をめぐって激しい争いを起している。仲本氏は、十四日、本都庁本部で選挙対策委員会を開き、仲本氏の出馬を正式に認め、選挙に出ることを決めた。仲本氏は、十四日、本都庁本部で選挙対策委員会を開き、仲本氏の出馬を正式に認め、選挙に出ることを決めた。仲本氏は、十四日、本都庁本部で選挙対策委員会を開き、仲本氏の出馬を正式に認め、選挙に出ることを決めた。

民主党は、本都庁本部に仲本氏を推し入れ、選挙権をめぐって争っている。仲本氏は、十四日、本都庁本部で選挙対策委員会を開き、仲本氏の出馬を正式に認め、選挙に出ることを決めた。仲本氏は、十四日、本都庁本部で選挙対策委員会を開き、仲本氏の出馬を正式に認め、選挙に出ることを決めた。

仲本氏は、十四日、本都庁本部で選挙対策委員会を開き、仲本氏の出馬を正式に認め、選挙に出ることを決めた。仲本氏は、十四日、本都庁本部で選挙対策委員会を開き、仲本氏の出馬を正式に認め、選挙に出ることを決めた。仲本氏は、十四日、本都庁本部で選挙対策委員会を開き、仲本氏の出馬を正式に認め、選挙に出ることを決めた。



仲本氏の選挙対策委員会での様子

仲本氏は、十四日、本都庁本部で選挙対策委員会を開き、仲本氏の出馬を正式に認め、選挙に出ることを決めた。仲本氏は、十四日、本都庁本部で選挙対策委員会を開き、仲本氏の出馬を正式に認め、選挙に出ることを決めた。仲本氏は、十四日、本都庁本部で選挙対策委員会を開き、仲本氏の出馬を正式に認め、選挙に出ることを決めた。

### 臨時議会きょう開く

#### 案件は都市合併

15/12  
 立法臨時議会は十五日開議併に於て△都市合併で議区では土百の議案で定する。今回の案件は都市合併の変更による議法の一部改正の必要を認めないという議決案で、五日間の予定だが△別立地の編入選挙責任任命 になった。同日午前十時から常任委員長会 同意の件△厚生労働委員会 なる。都市合併の告示は十七日をもって正式の日程を決める。五件で、さき大覚を脱党し、日の予定である。案件は△新編、真和志両市の合 した官長選挙議員の議席変更し

## 人口十九万の都市へ

### 本土全国の都市中34位

とくに人口は一萬八千六百五十五名で、これ以上の人口は大きい。の他八(那覇六、真和志二、二千四百名、合計三万四千八百九十名を昭和二十七年四月の国勢調査によ、八〇)に増加し、日本全国の都市を比較してみると、博多第一遊園地、中三十四位という地位に、一、広島東市(十八万七千七百七十、平方計人口総数は五十九万八千五百名、愛知県豊田(十八万五千九百八十四名)、金沢(十八万四千四百名)に匹敵し、全国高傑を示している。合併後の那覇市は次のような大規模のものとなる。

#### △面積 都市の面積は

は大体三万平方キロだといわれているが、真和志の合併によて那覇市は四十一・五平方、那覇土平方、面積三十一・二平方、計(那覇九・二、真和志十一・一)となり、都市の面積は倍増することになった。

#### △人口 人口を人口の面

から眺めると、十八万六千二百廿四名(那覇土一万二千九百九

#### △官公庁 官公庁二千九

(那覇二千三、真和志六) △学校 幼稚園十三(那覇十、真和志三)、小学校十七(那覇十、真和志七)、中学校八(那覇五、真和志三)、高等学校九(那覇七、真和志二)大学十一

#### △文化施設 図書館、博物館、遊園地、

△衛生施設 病院七、診療所六十一、真和志九、保健所一、

#### △娯楽施設 映画館三、

那覇十一、真和志一、劇場七、真和志二、

# すべり出した選挙戦

## 那覇市長選挙

### もうポスター貼り

### 兼次・平良両氏とも届出

那覇市長選挙の届出は、二十四日午後八時を過ぎたが、かねて兼補の兼次と平良両氏が、九時二十分まで請手続を完了し、二十四日午間にわたる選挙戦に突入した。

二十三日、仲本氏の出席を、に貼りつけ、市民の選挙決意を示した。兼次と平良両氏は、この日選挙管理委員会に、那覇市四区八組の三カ所で、事務所は早朝から選挙戦の準備がはじまっていた。兼次と平良両氏は、この日選挙管理委員会に、事務所は早朝から選挙戦の準備がはじまっていた。

兼次と平良両氏は、この日選挙管理委員会に、事務所は早朝から選挙戦の準備がはじまっていた。兼次と平良両氏は、この日選挙管理委員会に、事務所は早朝から選挙戦の準備がはじまっていた。

兼次と平良両氏は、この日選挙管理委員会に、事務所は早朝から選挙戦の準備がはじまっていた。兼次と平良両氏は、この日選挙管理委員会に、事務所は早朝から選挙戦の準備がはじまっていた。

兼次と平良両氏は、この日選挙管理委員会に、事務所は早朝から選挙戦の準備がはじまっていた。兼次と平良両氏は、この日選挙管理委員会に、事務所は早朝から選挙戦の準備がはじまっていた。

兼次と平良両氏は、この日選挙管理委員会に、事務所は早朝から選挙戦の準備がはじまっていた。兼次と平良両氏は、この日選挙管理委員会に、事務所は早朝から選挙戦の準備がはじまっていた。

兼次と平良両氏は、この日選挙管理委員会に、事務所は早朝から選挙戦の準備がはじまっていた。兼次と平良両氏は、この日選挙管理委員会に、事務所は早朝から選挙戦の準備がはじまっていた。

兼次と平良両氏は、この日選挙管理委員会に、事務所は早朝から選挙戦の準備がはじまっていた。兼次と平良両氏は、この日選挙管理委員会に、事務所は早朝から選挙戦の準備がはじまっていた。

兼次と平良両氏は、この日選挙管理委員会に、事務所は早朝から選挙戦の準備がはじまっていた。兼次と平良両氏は、この日選挙管理委員会に、事務所は早朝から選挙戦の準備がはじまっていた。

### 候補者二人に

#### 那覇市長選挙

【那覇電】那覇市長選挙の候補者二人に、兼次と平良両氏が、この日選挙管理委員会に、事務所は早朝から選挙戦の準備がはじまっていた。

### 二候補が届出

#### 沖繩市長選挙

【那覇電】来年一月十日に行われる沖繩市長選挙は、二十四日午後、兼次と平良両氏が、この日選挙管理委員会に、事務所は早朝から選挙戦の準備がはじまっていた。

読者

32 12 25 沖繩タイムス

**両派のスローガン**

**本良氏** 一、親自主権の回復を自治の確立  
 二、軍用基地排除の阻止  
 三、都市計画の再検討に努め環境の改善  
 四、中野の補修  
 五、社会福祉事業の拡充  
 六、中小商業の振興  
 七、文化施設の整備  
 八、公園、緑地運動場、公会堂

**兼次氏** 一、親水公園化に反対し平和を  
 二、祖國復帰を實現し、日本の独立を待ち  
 三、四顧則皆敵し軍士切らざらば  
 四、軍事優先政策に反対し原野の風土を  
 五、高等弁官庁を反対し、自治体を  
 六、市長選挙を擁護し、祖國復帰の  
 七、防共法に二つの憲法に反対し  
 八、知事選挙に反対し、日本  
 九、知事選挙に反対し、日本  
 十、祖國の独立と勢力の回復を

32 12 25 沖繩タイムス

有権者	57年12月31日現在
合計	99,739人(男45,298人、女54,441)
△眼	
旧浦添市	4,966(男1,979、女2,987)
旧豊見城市	3,956(男1,517、女2,439)
旧糸織市	7,550(男3,434、女4,116)
旧糸織市	15,031(男7,266、女7,765)

35 33 3  
34 37



大學生の投票は十五分間に二分なり、公立大学を四七、私立大学が三五、私立大学が二

**白熱化する 那覇市長選**

【那覇】那覇市長選の白熱化は、選挙区をめぐり、各派の陣営が、市民の心を動かすべく、あらゆる手段を講じている。選挙区をめぐり、各派の陣営が、市民の心を動かすべく、あらゆる手段を講じている。

選挙区をめぐり、各派の陣営が、市民の心を動かすべく、あらゆる手段を講じている。選挙区をめぐり、各派の陣営が、市民の心を動かすべく、あらゆる手段を講じている。

**那覇市長選挙 追込みに入る**

【那覇九日共同】那覇市長選挙の追込み戦が、九日午後九時開始の投票開始から、市民の心を動かすべく、あらゆる手段を講じている。

選挙区をめぐり、各派の陣営が、市民の心を動かすべく、あらゆる手段を講じている。選挙区をめぐり、各派の陣営が、市民の心を動かすべく、あらゆる手段を講じている。

### 平良氏なら出す

復興資金 琉球銀行総裁談

【那覇十一日特電】復興琉球銀行総裁平良氏は十一日、本市長選挙で平良氏（社大党公認、民主党推薦）が勝つて復興資金の貸出しを要請してなら、よき貸出しの計画援助資金を返するなら、いい、と、平良氏民主主義推進協議会（推薦）が勝つても同じ程度に長官に受りないから補助金を全然考えないとのべた。

### 軍民政の区別

が米の課題

N.Yタイムズ紙

【ニューヨーク十一日特電】米紙「タイムズ」は、日本が本格的に承認されるべきである、日本の行政権もまた承認されるべきであり、同時に日本側その民政分野における行政権の行使に当り、軍政面ではアメリカが軍事面だけを担担するべきである、その結果、米は沖縄の民間人の生活から、米だけ離れる一方、情勢が変

化するに備へて、米は沖縄に留まるべき立場を主張すべきである。





**兼次氏略歴** 那覇市の本  
 属 沖縄北端の食糧の生れ、小学  
 校を出ると大阪で印刷工をせしな  
 がら親学、北部の本部町議員、戦  
 後町長、立法局議員二期、社大  
 初代書記長、中央執行委員、那覇  
 支部長などを勤め、昨年八月の市  
 会選挙では最高票で当選、議長問  
 題では結核人民党との共同を主  
 張、社大党主席と対立、支部員七  
 名とともに脱党、いわば議長前市  
 長の身がわり候補。

**平良氏略歴** 旧高中退  
 旧沖縄銀行入り、戦前議員連合連  
 合長、八重野会連合支部長、戦後  
 琉球農産連合会長、五〇年沖縄群  
 島知事、社大初代委員長、五三  
 年政界を引退し美業に入り、沖縄  
 建設会社設立社長、東京株主を  
 して、当選主席と稱し、閣議で  
 今回の出馬も平良氏の説がキ  
 ヲケたといわれる。

○……この那覇市長選挙は我々には余り大きな呼んでいるが、この背後の隠る、財界もあつて協力している。

○……兼次氏は平良派の綱を  
 引く。兼次氏は青年労働者層で、京、手、土、地、代、の「括弧」  
 地を有する四重町議員、那覇市政  
 の取捨、都市計画の推進、市民  
 の福祉向上に大覚がなす。

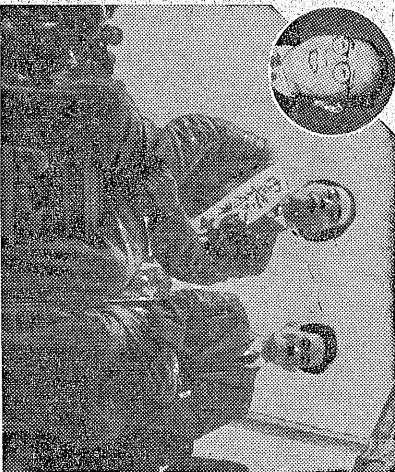
○……兼次氏は平良派「系」  
 候補で、兼次氏は「系」  
 候補「系」の平良派「系」  
 候補「系」の平良派「系」  
 候補「系」の平良派「系」  
 候補「系」の平良派「系」

**候補者の争点**

○……兼次氏は平良派の綱を  
 引く。兼次氏は青年労働者層で、京、手、土、地、代、の「括弧」  
 地を有する四重町議員、那覇市政  
 の取捨、都市計画の推進、市民  
 の福祉向上に大覚がなす。

○……兼次氏は平良派「系」  
 候補で、兼次氏は「系」  
 候補「系」の平良派「系」  
 候補「系」の平良派「系」  
 候補「系」の平良派「系」  
 候補「系」の平良派「系」

きょう注目 沖繩市長選挙が行われる。沖繩の地方選挙とはいえず、その選挙体は重要である。一昨年の加回選挙ではアメリカ人の民主主義が中心に...



沖繩市長選挙の中心人物、前市長の仲野...

沖繩はどっへ行く ぎょう那覇市長選挙

沖繩島 選挙の中心人物、前市長の仲野。選挙の中心人物、前市長の仲野。選挙の中心人物、前市長の仲野...

追放では平良氏が先鋒

前市長の仲野は、選挙の中心人物として、追放では平良氏が先鋒と見られていた。選挙の中心人物、前市長の仲野...

何れも日本復帰説の微妙な対米態度 抵抗と批判協力

自民党が、日本復帰の議論を、その対米態度の微妙な対米態度、抵抗と批判協力として展開している。自民党が、日本復帰の議論...

日本社会党 アイアな。日本社会党のアイアな。日本社会党のアイアな...

選挙の中心人物、前市長の仲野。選挙の中心人物、前市長の仲野。選挙の中心人物、前市長の仲野...

選挙の中心人物、前市長の仲野。選挙の中心人物、前市長の仲野。選挙の中心人物、前市長の仲野...